

【活動報告】

平成 29 年度企画展示

「変わる東京

— 「文化スライド」が写した昭和 30 年代」

東京都公文書館 史料編さん担当

佐藤 佳子

はじめに

東京都公文書館は、公文書のほか、行政刊行物や写真・映画フィルムなど、多様な媒体にわたる東京都の歴史的資料を収集・保存している。

こうした多様な資料の中から、平成 29 年度の企画展示では、「変わる東京—『文化スライド』が写した昭和 30 年代」と題して、都が昭和 27 年（1952）から 44 年（1969）にかけて都政広報のために作製した「東京都文化（広報）スライド」を取り上げた。

平成 28 年度に実施した企画展示「東京 1945—1954『文化スライド』にみる東京～昭和 20 年代」では、同スライドを素材に昭和 20 年代の東京を紹介したが、今回はそれに続き、昭和 30 年代の東京の姿を 100 点のスライド・写真でご覧いただくこととした（展示資料は文末リスト参照）。

開催期間は平成 29 年（2017）7 月 25 日（火）から同年 9 月 22 日（金）まで、全体構成は以下のとおりである。

- | | |
|------------------|-----------------|
| I 変わる街並み | II 昭和 30 年代の暮らし |
| III 戦災復興から首都圏整備へ | IV オリンピックを迎える東京 |

以下構成に従って展示内容を紹介する。

I 変わる街並み

昭和 30 年代、東京の街並みは大きく変ぼうした。都心部では、昭和 39 年（1964）のオリンピック競技大会東京開催が決定すると、首都高速道路をはじめとする大規模なインフラ整備が実施されていった。国際都市にふさわしい空・海の玄関として羽田空港や東京港の拡充が図られる一方で、埋め立てや水質汚染によって江戸時代から続く内湾漁業は廃止に追い込まれた。

牧歌的な景色が広がる郊外地域は、急激な経済成長や人口増加により急速に都市化し、畑





建設中の東京タワー
(文化・第71輯「道路と交通」昭和33年5月)



港区赤羽橋バス停付近（平成29年現在）



玉電沿線の風景
(文化・第64輯「東京の変ぼう(二)」昭和32年10月)



世田谷区桜新町（平成29年現在）



呑川河口の海苔船
(文化・第53輯「東京の海」昭和31年11月)



大田区旧呑川緑地（平成29年現在）



御蔵島のハンケ作業
(文化・第52輯「三宅・御蔵島の文化財」昭和31年10月)



御蔵島港（平成29年現在）
写真提供：東京都三宅支庁

は住宅や工場に変わり、多摩の山村では、急増する水需要を確保するため小河内ダムが建設され、いくつかの集落が湖底に沈んだ。

これらの変化を来観者が実感できるように、展示したスライド画像と、同地点の現在の写真とを並べて展示する方法を採用した。この展示方法は、来観者アンケートで好評を得た¹。

Ⅱ 昭和30年代の暮らし

昭和30年代、日本経済は高度経済成長期に突入する。家庭電器製品の普及など技術革新が進み、自動車の大衆化や、スーパーマーケットの出現など流通革命も進んだ。政府の所得倍増計画により、30年代半ば頃から給与の大幅な上昇が始まったことも相まって、人々の生活は大きく向上する。

その反面、急激な成長の中心となった首都東京では、人口・産業の集中に拍車がかかり、交通混雑、大気・水の汚染、住宅難や通勤難、青少年問題といった「過大都市の悩み」が人々の暮らしに影を落とすようになった。

また、多摩の山間

部では道路や上下水道などの生活基盤整備が遅れたことから、昔ながらの生活様式がまだ残されていた。

このコーナーでは、昭和30年代の東京に暮らしていた人々の日常生活を写したスライドを展示した。さらに当時の主婦の生活や、子どもたちの学校生活、遊びの様子については、スライド画像とともに、電話機やハエ取り紙など当時の暮らしの道具や雑誌、子どもの遊び道具など実物資料も併せて展示した。

Ⅲ 戦災復興から首都圏整備へ

空襲により壊滅的な打撃を受けた東京の都市整備は、昭和20年代に戦災復興事業として計画された。計画当初は関東大震災後に行われた震災復興区画整理事業を踏まえ、被災地域だけでなく、周辺地区を含む広い範囲に区画整理を施行し、計画的・機能的な都市の創出を目指した。しかし急激な人口増加や資材不足、物価の暴騰、財源不足など様々な要因により、計画は縮小を重ねた。

30年代に入ると、人口増加や産業の集中・発展に加え、道路・住宅・水道・下水など都市基盤整備の遅れも相まって、都市公害問題が顕在化する。

これらの課題を解決するため、周辺隣接県を含む広域を「首都圏」と捉えて対策を講じる「首都圏構想」が提唱されるようになる。

昭和31年（1956）に首都圏整備法が成立、33年には東京駅を中心とする半径およそ100kmを計画区域とする首都圏整備計画（第一次）が策定され、整備が進められていった。

ここでは、これらの計画を紹介したスライドとともに、池袋・渋谷・新宿などの都心部や、多摩地域の変化の様子をとらえたスライドを展示した。



理想的な台所
(文化・第96輯「都民の食生活」昭和35年6月)



買物風景
(文化・第40輯「東京のいちば」昭和30年10月)



山村の生活（水汲み）
(文化・第60輯「東京の山村」昭和32年6月)



急増する人口と自動車
(文化・第126輯「東京の道路づくり」昭和37年12月)



東京駅周辺の整備計画模型
 (文化・第44輯「首都東京の建設」昭和31年2月)



ビルから排出されるばい煙（千代田区丸の内）
 (文化・第68輯「東京の気候と生活」昭和33年2月)



新宿駅西口
 (広報・特集「都市計画のはなし」昭和42年2月)



しぶちかの工事（国鉄渋谷駅西口）
 (文化・第61輯「東京の変ぼうー渋谷ー」昭和32年7月)

IV オリンピックを迎える東京

このコーナーでは、オリンピック開催を契機に、大きく変わっていく東京の姿を、オリンピック以前の街の様子とともに紹介した。

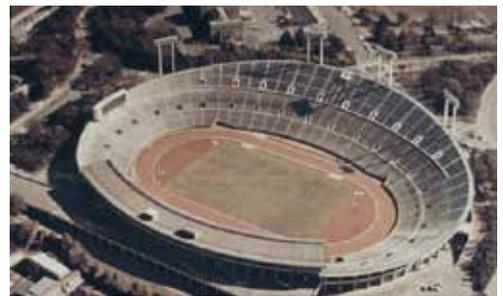
昭和34年（1959）5月、ミュンヘンで開かれたIOC（国際オリンピック委員会）総会で、第18回オリンピック競技大会の東京開催が決定する。

招致決定後、都は開催都市として、各種競技施設と、道路・上下水道・公園など関連施設の整備に取り組んだ。39年のオリンピック開催は、東京にとって、停滞する都市基盤整備を促進する一大イベントとなることが期待された。

そのねらい通り、大会のために整備された公園・道路・交通機関などは、都心部と一部隣接地域の様相を一新させることになった。

一方で、この時期都が大会準備に専念したことにより、大会開催に関連の少ない地域の整備や、福祉に関わる施策等は手薄となった。また、公害をはじめとする都市問題が深刻化し、これらへの対応は、大会後の都政課題として引き継がれていった。

オリンピック準備事業により整備された東京の街並みが、現在もレガシーとして引き継がれているためか、来観者の感想には整備前の東京の街並みの様子が印象に残ったという意見が多くみられた。



国立競技場
 (広報・特集「近づく東京オリンピック」昭和38年11月)



建設中の首都高速4号線（赤坂見附）
 (広報・特集「近づく東京オリンピック」昭和38年11月)

昭和30年代の映像上映

昨年度に引き続き、今回の展示においても、スライドとその解説書を素材にして、スライド映像を制作上映した。さらに今回は、東京都建設局区画整理部（現都市整備局市街地整備部）が作製した戦災復興区画整理事業を記録した映画「復興のアルバム」をデジタル化して上映した。昭和20年代初めから30年にかけて、渋谷・新宿・池袋・錦糸町・赤羽・王子など、都内各所の変ぼうを記録した貴重な映像は、多くの来観者に好評であった。

展示方法改善の試み

昨年度の企画展示アンケートでは、もっと多くのスライドを展示してほしいという要望が寄せられた。こうした声に応えるため、今回の展示では初の試みとして、2階閲覧室内にある展示コーナーだけでなく、そのほかのスペースも展示会場として活用した。

具体的には、1階玄関ロビーと廊下壁面、2階へと続く階段踊り場壁面にも展示パネルを掲示するとともに、階段蹴込部分にスライドフィルム画像シールを貼付して、展示コーナーとの一体感を高める工夫をした。

この結果、計100点のスライド画像等を掲示することができた。

また、当館にはエレベータが設置されていないため、車椅子利用者や歩行に障害のある来観者には不便な施設となっている。こうした利用者にも展示を鑑賞していただけるよう、1階玄関ロビーに今回展示した全パネルの縮刷版を配置するとともに、50インチモニターを設置して、昭和30年代の映像を連続上映した。これにより、入館時から展示の雰囲気味わえるとともに、障害のある方にも展示内容をご覧いただくことができた²。

デジタル画像の提供

展示期間中、来観者より各スライドのデジタル画像提供希望が寄せられた。今回は展示資料の撮影を制限しなかったこともあり、来観者自身で展示パネルを撮影する形で提供を行った。現在閲覧室においては、当館の情報検索システム上で文化スライドのデジタル画像（サムネイル画像）閲覧が可能になっているが、サービスとしてのデジタル画像提供は確立していない。展示等を契機に、こうしたサービス需要は高まることが予想されるので、今後の課題として検討していく必要があると考えられる。



廊下壁面



玄関ロビー 映像上映コーナー



階段踊り場

展示リスト

I 変わる東京

【パネル】

「東京駅の航空写真」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「日本橋」	文化スライド第 90 輯	東京の名所	昭和 34 年 (1959) 12月
「銀座の夜景」	広報スライド特集	大東京	昭和 41 年 (1966) 2月
「建設中の東京タワー」	文化スライド第 71 輯	道路と交通	昭和 33 年 (1958) 5月
「上野アメヤ横丁」	文化スライド第 57 輯	東京の間屋街	昭和 32 年 (1957) 3月
「神田青果市場」	文化スライド第 40 輯	東京のいちば	昭和 30 年 (1955) 10月
「馬喰町間屋街」	文化スライド第 57 輯	東京の間屋街	昭和 32 年 (1957) 3月
「佃の渡し」	文化スライド第 100 輯	隅田川	昭和 35 年 (1960) 10月
「小名木川」	文化スライド第 97 輯	東京の低地と川	昭和 35 年 (1960) 7月
「石神井川（音無川）」	文化スライド第 72 輯	川をきれいに	昭和 33 年 (1958) 6月
「呑川河口の海苔船」	文化スライド第 53 輯	東京の海	昭和 31 年 (1956) 11月
「大井三ツ又商店街」	文化スライド第 71 輯	道路と交通	昭和 33 年 (1958) 5月
「中杉通りの商店街」	文化スライド第 71 輯	道路と交通	昭和 33 年 (1958) 5月
「畑の中の舗装道路」	文化スライド第 64 輯	東京の変ぼう (二)	昭和 32 年 (1957) 10月
「玉電沿線の風景」	文化スライド第 64 輯	東京の変ぼう (二)	昭和 32 年 (1957) 10月
「新しい映画館」	文化スライド第 64 輯	東京の変ぼう (二)	昭和 32 年 (1957) 10月
「三軒茶屋の賑わい」	文化スライド第 64 輯	東京の変ぼう (二)	昭和 32 年 (1957) 10月
「三鷹駅前」	文化スライド第 36 輯	蚊とハエをなくしましょう	昭和 30 年 (1955) 6月
「奥多摩町氷川」	文化スライド第 60 輯	東京の山村	昭和 32 年 (1957) 6月
「御蔵島のハシケ作業」	文化スライド第 52 輯	三宅・御蔵島の文化財	昭和 31 年 (1956) 10月
「八丈島の飛行場」	文化スライド第 105 輯	八丈島	昭和 36 年 (1961) 3月

II 昭和30年代の暮らし

【パネル】

「理想的な台所」	文化スライド第 96 輯	都民の食生活	昭和 35 年 (1960) 6月
「買物風景」	文化スライド第 40 輯	東京のいちば	昭和 30 年 (1955) 10月
「魚屋の店先」	文化スライド第 36 輯	蚊とハエをなくしましょう	昭和 30 年 (1955) 6月
「海苔干し場（大田区大森）」	文化スライド第 53 輯	東京の海	昭和 31 年 (1956) 11月
「おもちゃ工場」	文化スライド第 113 輯	東京の軽工業	昭和 36 年 (1961) 11月
「二部授業」	文化スライド第 31 輯	東京の衛星都市	昭和 30 年 (1955) 1月
「郊外の小学校 （世田谷区用賀 京西小学校）」	文化スライド第 64 輯	東京の変ぼう (二)	昭和 32 年 (1957) 10月
「子どもの遊び場」①～③	文化スライド第 67 輯	ほくらの遊び場	昭和 33 年 (1958) 1月
「子どもの遊び場」④	文化スライド第 103 輯	新しい多摩の文化財	昭和 36 年 (1961) 1月
「山村の生活」①～④	文化スライド第 60 輯	東京の山村	昭和 32 年 (1957) 6月

【展示ケース】

「黒電話」		千代田区教育委員会蔵	昭和 30 年代
「ハエ取りリボン（ハエ取り紙）」		桐灰化学株式会社	平成 29 年 (2017)
「めんこ」		千代田区教育委員会蔵	昭和 30 ～ 40 年代
「ペーゴマ」		千代田区教育委員会蔵	年不詳
「紙芝居児童百科紙芝居全集 保健衛生編⑨ 不思議なめがね 手を洗いましょう」	山本 駿次朗／作並画 教育画劇	東京都立多摩図書館蔵	昭和 31 年 (1956)
「暮らしの手帖」通巻 35 号	暮らしの手帖社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 31 年 (1956) 7月
「暮らしの手帖」通巻 44 号	暮らしの手帖社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 33 年 (1958) 5月
「月刊自動車」創刊号	交通科学社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 34 年 (1959) 4月
「CAR グラフィック」創刊号	二玄社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 37 年 (1962) 4月
「暮らしの設計」創刊号	中央公論社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 38 年 (1963) 1月
「暮らしの設計」第 1 巻 3 号	中央公論社	東京都立多摩図書館蔵	昭和 38 年 (1963) 5月

Ⅲ 戦災復興から首都圏整備へ

【パネル】

「東京駅周辺の整備計画模型」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「急増する人口と自動車」	文化スライド第 126 輯	東京の道路づくり	昭和 37 年 (1962) 12月
「混雑する道路 (祝田橋交差点:千代田区)」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「千住付近の街並み (足立区千住中居町)」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「ビルから排出されるばい煙 (千代田区丸の内)」	文化スライド第 68 輯	東京の気候と生活	昭和 33 年 (1958) 2月
「悪臭を放つ河川」	広報スライド第 144 輯	都市公害	昭和 40 年 (1960) 9月
「街頭での騒音測定」	文化スライド第 94 輯	ばい煙と騒音	昭和 35 年 (1960) 4月
「街頭の臨時ばい煙相談所 (池袋 西武百貨店前)」	文化スライド第 94 輯	ばい煙と騒音	昭和 35 年 (1960) 4月
「都営地下鉄の初開通 (浅草線浅草橋駅)」	文化スライド第 125 輯	東京都の地下鉄	昭和 37 年 (1962) 11月
「首都圏整備計画の地域区分」	文化スライド第 80 輯	衛星都市-街づくり-	昭和 34 年 (1959) 2月
「首都圏域図」	文化スライド第 80 輯	衛星都市-街づくり-	昭和 34 年 (1959) 2月
「池袋駅東口の変ぼう (戦災復興区画整理事業)」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「幹線道路の工事 (失業対策事業)」	文化スライド第 74 輯	失業対策事業	昭和 33 年 (1958) 8月
「昭和 20 年代初めの渋谷 (国鉄渋谷駅ハチ公側)」	文化スライド第 50 輯	東京の成長 (五)	昭和 31 年 (1956) 8月
「昭和 22 年ごろの宮益坂 (国鉄渋谷駅東側)」	文化スライド第 61 輯	東京の変ぼう-渋谷-	昭和 32 年 (1957) 7月
「しぶちかの工事 (国鉄渋谷駅西口)」	文化スライド第 61 輯	東京の変ぼう-渋谷-	昭和 32 年 (1957) 7月
「昭和 32 年の渋谷駅東側 (宮益坂・東急文化会館)」	文化スライド第 61 輯	東京の変ぼう-渋谷-	昭和 32 年 (1957) 7月
「40 年代初めの渋谷駅周辺」	広報スライド特集	都市計画のはなし	昭和 42 年 (1967) 2月
「国鉄新宿駅の混雑」	文化スライド第 44 輯	首都東京の建設	昭和 31 年 (1956) 2月
「新宿駅西口」	広報スライド特集	都市計画のはなし	昭和 42 年 (1967) 2月
「新宿副都心計画模型」	広報スライド特集	都市計画のはなし	昭和 42 年 (1967) 2月
「新宿西口広場の工事」	広報スライド特集	大東京	昭和 41 年 (1966) 2月
「晴海ふ頭にできた 国際見本市会場」	文化スライド第 83 輯	貿易と国際見本市	昭和 34 年 (1959) 5月
「多摩地域の衛星都市 (八王子市八日町)」	文化スライド第 31 輯	東京の衛星都市	昭和 30 年 (1955) 1月
「衛星都市への工場誘致 (日野市さくら町)」	文化スライド第 80 輯	衛星都市-街づくり-	昭和 34 年 (1959) 2月
「衛星都市への団地建設 (都営村山団地)」	文化スライド第 80 輯	衛星都市-街づくり-	昭和 34 年 (1959) 2月

Ⅳ オリンピックを迎える東京

【パネル】

「国立競技場」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和 38 年 (1963) 11月
「アジア競技大会」	文化スライド第 85 輯	オリンピックの施設	昭和 34 年 (1959) 7月
「アジア競技大会の歓迎 (銀座)」	文化スライド第 79 輯	オリンピックの話	昭和 34 年 (1959) 1月
「東京オリンピック招致報告会」	文化スライド第 85 輯	オリンピックの施設	昭和 34 年 (1959) 7月
「プレ・オリンピック (東京国際スポーツ大会)」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和 38 年 (1963) 11月
「オリンピック以前のごみ収集」	文化スライド第 36 輯	蚊とハエをなくしましょう	昭和 30 年 (1955) 6月
「どぶさらい」	文化スライド第 36 輯	蚊とハエをなくしましょう	昭和 30 年 (1955) 6月
「首都美化-汚れた街頭」	文化スライド第 115 輯	まちを美しく	昭和 37 年 (1962) 1月
「首都美化-汚れた河川」	文化スライド第 115 輯	まちを美しく	昭和 37 年 (1962) 1月
「駒沢陸上競技場の工事」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和 38 年 (1963) 11月
「駒沢体育館の工事」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和 38 年 (1963) 11月
「国立代々木競技場第一体育館の 工事」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和 38 年 (1963) 11月

「国立代々木競技場第一体育館・第二体育館」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
「完成後の都立駒沢オリンピック公園」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「駒沢通り」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「完成後の都立明治公園」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「完成後の国立代々木競技場」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「放射4号線拡幅工事(池尻付近)」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
「放射4号線(外苑前交差点付近)」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「環状7号線(立体交差工事)」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
「完成後の環状7号線」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「建設中の首都高速4号線(赤坂見附)」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
「完成した首都高速4号線(赤坂見附)」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「建設中の首都高速1号線」	広報スライド特集	近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
「完成した首都高速1号線(江戸橋ジャンクション)」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月
「東京モノレール」	広報スライド第151輯	東京の交通	昭和42年(1967)12月
「新幹線の建設」	広報スライド特集	大東京	昭和41年(1966)2月

【床貼りパネル】

「1964 Olympic to Tokyo」	昭和33年(1958)
-------------------------	-------------

映像上映コーナー

文化スライド第84輯 ぼくの家工場—中小企業—	昭和34年(1959)6月
広報スライド特集 近づく東京オリンピック	昭和38年(1963)11月
復興のアルバム	昭和31年(1956)

※本文のキャプションについて、「文化スライド第〇輯」は「文化・第〇輯」に、「広報スライド第〇輯」は「広報・第〇輯」に、「広報スライド特集」は「広報・特集」とした。

- 1 展示内容について寄せられた感想351件のうち、54件が新旧を対比した展示方法が良かったと評価している。
- 2 展示期間中、介護サービス利用者の方々にも御来観いただいた。

最後に、本展示開催にあたり、資料の提供をはじめ、各位より多大なご協力をいただいた。以下に御氏名・機関名を記して感謝を申し上げます(50音順 敬称略)。

有賀武雄 飯田恭次 北区土木部道路公園課 鬼頭良助 銀座通連合会
 ココカラファイン用賀駅前店 玉電と郷土の資料館大塚勝利 田村礼一
 千代田区立日比谷図書文化館 東京都都市整備局市街地整備部区画整理課
 東京都八丈支庁港湾課 東京都三宅支庁土木港湾課 東京都立多摩図書館